



優秀選手賞を受賞した窪田羽南選手(左端)

窪川JVC「小学生バレー大会」大健闘

「第30回四万十町窪川B & G海洋センター杯小学生バレーボール大会」が、8月3日に開催されました。

県内から32チーム273人の選手が参加。四万十町から出場した窪川JVCは序盤、選手たちに緊張も見えましたが、徐々に本来の動きを取り戻し、積極的にボールを追いかけるなど、試合の中で大きな成長を見せていました。

その結果、見事決勝トーナメントへ進出し健闘しましたが、惜しくも第4位となりました。また、同クラブの窪田羽南選手はその活躍が評価され、優秀選手賞を受賞しました。



優勝した「異骨相」の皆さん

白熱「長期ミックスバレー大会」

「第34回四万十町長期ミックスバレーボール大会」が窪川B & G海洋センターで、7月8日・11日・15日・18日・22日の全5日間の日程で開催されました。

全てのチームがうだるような暑さの中、最終日まで粘り強く戦い抜きました。

【大会結果】

第1位	異骨相	第4位	ドラゴン
第2位	仏血屋	第5位	Seaz
第3位	いごっそうその2	第6位	miffy



ハヤ釣り体験でエサを探す児童たち

ふるさと学習事業「川がき体験」満喫

米奥小学校近くの河原で8月4日、町内の5年生を対象とした「川がき体験学習」が行われました。これはふるさと学習の一環として、児童に四万十川への親しみを持ってもらおうと毎年、町が開催しているものです。

参加した36人の児童は、川遊び・ハヤ釣り・スローロープ体験など四万十川のレジャーを満喫。昼食では四万十川で取れた鮎の塩焼きやカレーライスを、他校の児童たちと楽しく味わいました。生まれ育った四万十町の自然を、新たな仲間と満喫し、夏の良い思い出となったようです。



消防ポンプ車などにも直結できる浄水器

宝くじの助成金で浄水器を整備

(一社)自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、四万十町昭和自主防災組織連絡会が浄水器を整備しました。

有事の際の飲料水を確保するために整備したもので、事前に自主防災組織の代表や消防団、消防職員、地区住民が集まり、デモ機を使った訓練も行われており、自主防災体制の充実と強化が図られています。

この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動に寄与しています。



浴衣姿で接客する東又小学校の児童たち

「いらっしやい！」元気な声が響く子ども夜市

窪川地区の金曜日の夜に開催される「金太郎夜市」。夏の風物詩となっているこの夜市は、毎年7月に3週連続で開催されています。2週目となった7月18日は、町内の小学生たちが販売体験をする「子ども夜市」が開催され、3つの小学校が趣向を凝らした屋台を出店。商店街にはお客さんと呼ば込む児童たちの声が響いていました。

また、コワーキングスペースの駐車場では、JA窪川民謡クラブのメンバーらが企画した盆踊り大会も開催され、来場者が輪になって踊るなど多くの方が夏の夜を楽しんでいました。



「こっちに投げて～」約5分間続いた餅まき

「沈下橋夏祭り」雨でも約400人来場

「沈下橋夏祭りin松葉川」が7月26日、米奥小学校で開催され、約400人が来場しました。2008年に地域一丸となってスタートした祭りは沈下橋に灯る「たいまつ」や子ども相撲が見ものです。

今年は雨のため「やぐら」を体育館に設置。沖縄音楽で幕開けしたあと1俵分の餅が体育館を舞い開催を祝いました。また、伝統の盆踊り「こっぱ・こりやせ」を全校児童15人が踊ると観客も飛び入り参加し雨音に負けないにぎわいとなりました。

関係者が山から切り出して作った「たいまつ」の沈下橋での点灯は来年のお楽しみです。



全力勝負！泥まみれの運動会！

大歓声！大正中津川「どろんこ運動会」

大正中津川地域の名物行事「どろんこ運動会」が7月27日、集落活動センターこだま前の田んぼで開催されました。町内外から集まった約80人の参加者は、全身泥まみれになりながら、全10種目の競技に挑みました。

「6人7脚」では各チーム息ぴったりの全力疾走に観客席からは歓声が上がり、名物競技の「男相撲」や「女相撲」では渾身の立ち合いで会場はさらに大きな盛り上がりを見せていました。

競技の結果、「ガンバレしょうくん」チームが優勝。普段は穏やかなこの地域に、今年も大歓声と笑いが響き渡った熱狂の一日となりました。



個性あふれる作品と一緒に、はい、チーズ！

親子で楽しむ「夏休み工作教室」

青少年わんぱく学校事業 夏休み工作教室「モビールアートを楽しもう！」が8月3日、農村環境改善センターで開催されました。17人の児童とその保護者11人が参加し、講師の山口香さんの説明を受けながら、親子で作品作りを楽しみました。

海をイメージしたものや好きな恐竜やキャラクターなどのイラストを描いたものなど、思い思いの作品が出来上がっていきます。途中、テグスを使った細かな作業ではバランスに苦労する場面もありましたが、個性あふれるモビールアートが完成し、参加者は大満足の様子でした。